



月刊

検診のチカラ

2025

9

かかりつけ医から患者へ、命を守る一言を

創刊号

便潜血検査による大腸がん検診は、正しく受けていただくことで大腸がんによる死亡を減らす効果があることが明らかとなっています。にもかかわらず、検診受診者が少ないために、十分な効果を発揮していません。今でも、日本国内で年間53,000人の方が大腸がんで命を落としています。生活習慣病などでいつも通院している患者さんが、大腸がんで命を落とすということは、とても残念なことだと思いませんか？

浜松市医師会大腸がん検診委員会は、この度、かかりつけ患者さんへの大腸がん検診を勧めていただくために、1年間の期間限定で月間情報チラシを発行することにしました。患者さんへの受診勧奨にぜひお役立てください。

お役立ち情報

大腸がんの全情報掲載



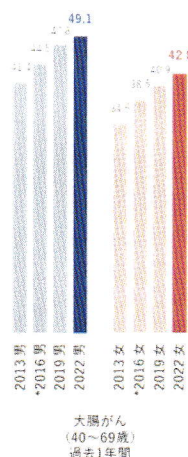
今年3月の従事者講習会で、Webでご講演いただいた小林望先生が編集された「ファクトシート」が、国立がん研究センター中央病院のホームページで公開されています。全57ページにわたり、大腸がんに関するあらゆる情報が記載されています。患者さんに大腸がんについて説明するために、お役立てください。

←ダウンロードできます

数字でみる大腸がん検診

40%
検診受診率

大腸がん検診の受診率を正確に把握することは難しいのですが、国民生活基礎調査（自己申告）によると、約40%であることが知られています。市町村の対策型検診に限ると、11%ともいわれています。検診を受けていない方は、大腸癌で死亡するリスクを抱えています！

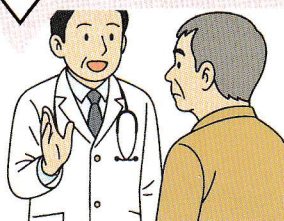


語りかけ例文

患者さんに合わせて切り口を工夫

「家族のために！」

ご自身の健康は、ご家族の安心にもつながります。もし病気が見つかったとしても、早期であれば治療も軽く済みますし、生活への影響も最小限で済みます。大切な人のためにも、検診を受けておくことはとても意味のあることです。



ワンポイント

検体は冷蔵庫で保存

便潜血検査の検体（便）は、採取後できるだけ早く提出することが望ましいですが、すぐに提出できない場合は冷蔵庫で保存する必要があります。

これは、検体が室温で長時間放置されると、血液成分が分解されてしまい、正確な検査結果が得られなくなる可能性があるためです。

保存のポイント

採取後は冷蔵庫（約4℃）で保管する
提出までの目安は2日以内



浜松市医師会 大腸がん検診委員会

一般社団法人 浜松市医師会

〒430-0935 静岡県浜松市中央区伝馬町311-2

053-452-0424